令和5(2023)年 1月10日発行　第141号

こびとのおうちえんLetter 1月号

今年のお正月は、あったかでしたね。　よく晴れて、初日の出もきれいにみえました。わが家は、3年ぶりに妹2人とその子どもたちと父母 計9名で迎えることができ、父、母のうれしそうな笑顔がうれしい私でした。　初日の出を見に行く途中、鹿の鳴く声が近くにひびきました。そしたら、目の前に鹿が!! おいっこ2人と追いかけたのでした。

さてさて、おうちえんは、なんとも おだやかで 活気もあって、ほがらか。そんな、こどもたちと 日日明るくスタートしています。そして、新年早々、久しぶりの卒園生たちに会えたのも 私の中で、とても大きな力となっています。

こどもたちと 一緒に、日々をしっかり、ていねいに歩みます。

1月のスタッフプラン

・山であそぼう

・いっぱいからだをうごかそう!

18日(水) おべんとうのひ

※おべんとうの準備をよろしくおねがいします

1月のペアレンツグループ

20日(金) 13:00～15:00

場所　もみじの家

内容　フィーリンググループ

今の自分をゆっくり感じる時間、メンバーのきもちを聴き合う時間、ご一緒しましょう。

（参加される方は事前にご連絡下さいね。）

おたんじょうび おめでとう!!

2日 おおかわ かほちゃん(5さい)

12日 かま ことちゃん(4さい)

――――――――の様子をおしらせします。

12月はこんなことしました

・神護寺にいく
・マラソン
・パンケーキづくり・お茶会
・やきいも、やきみかん
・かぼちゃとり
・じゃがいもほり
・大豆の選り
・ポップコーンづくり
・まろさんのジャグリングを見る
・ふゆいちごつみ
・クサギ染め
・フキノトウさがし
・干しいも作り
・門松づくり
・イノシシ道たんけん
・弥山登山
・サッカー
・けん玉づくり
・けいどろ　etc…

よっこのおうちえん日誌～日々のあれこれ～

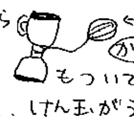
(しおま)が、「よっこ…」と呼んだと思って返事したら、「ちがうよ、よっこらしょって、じゃがいもほったの」(12/20)

(あかり)の会話がかわってきた。流さないし、1つ1つたしかめる。「ん?」「なに?」「これってどういうこと?」相手のやってることに対しての興味がわいてるかんじ。知りたい!という欲求とかもでてきた。(12/20)

11/24から「エルマーと16ぴきのりゅう」というお話をさよならMのときに読んでいる。長いので見出しごとに少しづつ読みすすめる。お休みもあったのでしばらく読んでなかったけど、そろそろ再開と思って、前はどこまでだっけ…と言ったら(ひろのぶ)が「ワゴンさんとワゴンおくさん」までよんだ。次は「あやしいにんげんたち」だよ。と言った。すごい…!! 約1ヶ月前のことをおぼえてるんだ…。そういえば(ひろのぶ)は、山たんけんで通った道を、通ったことないわたしと(たまと)に完璧に案内してくれた。(12/21)

山の中に入っていった(かのん)(びーばー)ももちゃん。すごいがしゃがしゃで大変だったみたい。そこを進みながら(かのん)「イノシシの大・中・小だね!」(12/9)

(かいと)(あかり)(びーばー)とおさんぽに行った。(みいと)が自転車に行きたいといい、歩いていく。大きなこおりをとってサッカーしたり、道ばたのコンクリートの間から生えていた小さな大根をみつけてぬいたり、高いところにある枝の上をなげたものが越せるかというゲームを考えて、くりをなげたり、いろんなあそびを見つけてたのしんでさんぽしてる。梅が一輪咲いていた。(かいと)がめちゃリラックスしてたのしそうだ。3人ともはずんでいる。かぼちゃん(つるになっている実をそう呼んでいる)をとって、つるを持ったままサッカーしたり、手でキャッチしたり、ひっぱっておさんぽしたりする(かいと)と(びーばー)。それをみてひらめいた! けん玉つくりたい! それで翌2日、それを言ったら(かいと)が、かぼちゃんとりさんぽに一緒に行き、午後から2人でけん玉作りになった。(かいと)と2人で工作とかするなんて超スペシャル!! ペットボトルを2つくっつけて ビニールテープまくのに苦労しながら



←こんなのをつくった。(かいと)のには「とって」もついている♪

そして、けん玉がうまいことといって、うれしいわたしたち。たのしー♫ よっこのつくったぶんで(みらい)や(ゆづき)や(かほ)や(かのん)がやりたい!といってやってみていた。(みらい)が、「けん玉は、ひざを使うんだよ!」と言って、上手に入れていた。(12/20、22)

キッチンスタッフより

私は、おうちえんやてらこやのスタッフのことを、とても信頼している。いつも本当にすごいな、ありがたいなと思っている。　自分の夫が(一応)経営?している場所で働いている人達のことを、ある意味身内のような存在だとすると、そんなふうに言うのは、はずかしいというか、おかしいのかもしれないが、本当にそう思っている。

これは「おうちえんレター」だから、おうちえんのことについて書くと、私は朝のミーティングのときはいつも、キッチンのほうに向かっているので、みんなの様子を背中越しに聞いているのだが、ひとり心打たれることがある。

お話したいことがある人、の時間では、子どもたちは、朝食べてきたものや、昨日見たことなどを無邪気に話すことが多い。スタッフのほうも、嬉しかったこと、悲しかったことなどを話すときがある。そして時々は、スタッフから、このようなことを子どもたちに話すことがある。「昨日、私はこういうことをみんなに言ったんだけど、後で考えたら、こういう言い方をしたほうがよかったのかなと思ったんだ」とか「もし昨日悲しい気持ちになっていた子がいたらごめんね、ということを伝えたい」とかいうことだ。

毎日、子ども達が帰ってからスタッフはミーティングをする。他の園のことは知らないけど、それ自体は珍しいことではないのかもしれない。しかし、その日の自分の対応が、もしかしたら違っていたかもしれない、そう思った時に、すぐに子ども達に対して、そのことを伝える。そして、これからこうやっていこうと思うよと言う、というのは、なかなかできないことではないかと思う。大人としての変なプライドってあるし、相手の年齢が低ければ低いほど、ごまかそうと思えば簡単にできるだろうし、小さい子ども達なんてすぐに忘れてしまうだろうと、大人は思いがちだ(私も母親として、自分の子ども達をそんなふうにごまかしてきたことはよくある)。

スタッフがそのような話をするとき、内容が難しいのではないか、と私は思うときがある。子ども達は理解しているのかな? 私は時々心配に思ってちょっと振り向いてみることがある。子ども達は正座したまま、話しているスタッフの顔を真剣な顔で見て、全身で話を聞いている。時々、涙を流す子までいる。涙が出るということは、少なくとも、何言ってるんだろうとぼんやり聞いているわけではないのだ。全ては分からなくても、話している大人の感情を受け止めようとしているし、そこになにかしらの自分の心や記憶が反応しているのだと思う。

スタッフや子ども達のことをすごいと思う点はいろいろある。朝のミーティングが始まる前からマラソンをしていたり、柳井の恐竜公園まで午前中だけで行って帰ってきたり、子ども達だけで焚き火の準備もしっかりできたり(留が学校の理科の実験のとき知ったらしいが、今ほとんどの中学生はマッチをすることさえできないのだ)、その体力、エネルギーには、いつも私は感心してしまう。しかし、1番すごいなと思うことは、スタッフも子ども達も、日々そういった喜びや痛みを繰り返し、両方で話し合って聞き合って成長していく姿だ。そして、そこに、私も置いてきぼりにされたくない、という気持ちがある。

今年は、私にとって、自分の子ども達が巣立っていく区切りの年となる。新しい生活に戸惑うかもしれない。でも、おうちえんのみんなとともに、私も試行錯誤しながら成長の1年にしていくつもりだ。

大下里香

おしらせ

・親子でおうちえんの日…2/11(土・祝) 9:30～14:00　←時間ご注意下さい。

おもちつき、どんどやき、けいどろ、山たんけん etc… 大人もこどももいっぱいあそびましょう! やりたいことのある方は教えて下さいね。　昼食は、つきたてのおもちとお汁です。マイカップ、はし、おわん等ご持参下さい。　人数の確認をしたいので前日までに出欠の連絡をお願いします。

・卒園おとまり会(年長児)…3/3(金)～4(土)

通常保育後～10:30a.m.

いっしょにごはんを作り、たき火を囲んでカンパイ! スタッフと卒園生のスペシャルプランです。やりたいことをやって心に残る時間を過ごせたらと思います。よろしくお願いします。

・たびだちの会…3/27(月) 9:30～12:00

7人の卒園生のたびだちをみんなでお祝いしましょう。あったかいきもちをもって、新しい場へとふみ出せるような「いってらっしゃい!!」の会にできたらと思います。詳しくは、近づいてから改めてお知らせします。今年度最終日です。

●埼玉のよっちゃんよりX'masに絵本4冊いただきました! よっちゃん、ありがとう!!